

平成31年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象 <input checked="" type="checkbox"/> 評価対象		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了事業		<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/> 経費区分		<input type="checkbox"/> 担当者 <input type="checkbox"/> 内線	北澤知子 3631
全体計画				-				
事務事業名	4332 解放子ども会等推進事業							
所 属	300400 教育委員会事務局・人権同和教育課							
施 策	07013600 人権が尊重される社会の実現							
予算 科目	会計	01 一般会計						
	科目	100803 教育費・人権同和教育費・社会人権同和教育費						
	事業	020000 解放子ども会等推進事業						
事業目的				事業概要・効果				
何が差別であるかを見抜く力をつけるための基礎学習と他者への思いやりを学び人権尊重の意識を高めるための解放学習を行う。				児童生徒が、部落差別をはじめさまざまな差別の問題解決に向けて、差別を見抜き、差別に負けず、差別をなくす力をつけることを目指して、小中学生を対象に解放子ども会活動を推進する。				

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
解放子ども会に指導者を派遣し、基礎学習と解放学習を行い、対象地域児童・生徒の差別撤廃につながる学力の向上と、差別に立ち向かう自覚と人権尊重の意識を高めることができた。	解放子ども会に指導者を派遣し、基礎学習と解放学習を行い、対象地域児童・生徒の差別撤廃につながる学力の向上と、差別に立ち向かう自覚と人権尊重の意識を高めることができた。
平成29年度 実績	平成30年度 実績
解放子ども会に指導者を派遣し、基礎学習と解放学習を行い、対象地域児童・生徒の差別撤廃につながる学力の向上と、差別に立ち向かう自覚と人権尊重の意識を高めることができた。	解放子ども会に指導者を派遣し、基礎学習と解放学習を行い、対象地域児童・生徒の差別撤廃につながる学力の向上と、差別に立ち向かう自覚と人権尊重の意識を高めた。また、休会していた高校生等学級を再開し、解放学習の積み重ねによる実践力を高めた。
平成31年度 予定	令和 2年度 予定
解放子ども会に指導者を派遣し、基礎学習と解放学習を行い、対象地域児童・生徒の差別撤廃につながる学力の向上と、差別に立ち向かう自覚と人権尊重の意識を高める。高校生等学級では、解放学習の積み重ねによる実践力を培う。	解放子ども会に指導者を派遣し、基礎学習と解放学習を行い、対象地域児童・生徒の差別撤廃につながる学力の向上と、差別に立ち向かう自覚と人権尊重の意識を高める。高校生等学級では、解放学習の積み重ねによる実践力を培う。

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		434	465
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	25	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		409	465
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	嘱託職員	0.1	0.1
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	715.0	715.0
	嘱託職員	287.5	287.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	1,002.5	1,002.5
市民一人当たりの経費		0.0	0.0
総額		1,436.5	1,467.5

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	332	解放子ども会指導者謝礼332
11節 需用費	9	事務用消耗品9
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	57	解放子ども会活動補助金57
その他	36	解放子ども会児童・生徒、高校生等学級生徒及び指導者のスポーツ安全保険料36

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	371	解放子ども会及び高校生学級指導者謝礼371
11節 需用費	9	事務用消耗品9
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	48	解放子ども会活動補助金48
その他	37	解放子ども会児童・生徒、高校生等学級生徒及び指導者のスポーツ安全保険料37

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	解放子ども会は教育委員会が設置しているものであり、学習させたいと希望する保護と本人の意欲がある限り、継続する。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	児童・生徒の成長段階に応じた学習と理解ができています。また、教職員が解放子ども会に関わることで、教職員自身の同和問題に対する意識の向上が図れている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	解放子ども会の運営は保護者会が行っており、活動補助金の友好的な使用について指導している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

解放子ども会に参加する児童・生徒の学習体制を整えるため、該当する小・中学校及び保護者会はもちろん、再開した高校生等学級の参加者とも、引き続き連携していく必要がある。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行されたことを踏まえ、解放子ども会で学ぶ児童・生徒・高校生の自主性を尊重しながら、差別に立ち向かう力の育成を図る取組みを継続していく必要がある。</p>		<p>学ぶ意欲ある児童生徒がいる限り継続が必要</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	